

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	膵癌術後補助化学療法施行例の Tissue microarray を用いた long noncoding RNA(HOTAIR, MALAT1, HOTTIP, PVT1, H19)の発現と生物学的特性の解析
	研究目的	近年, 様々な癌種において, その働きの重要性が示されている long noncoding RNA という一連の遺伝子について, 当院で膵癌の手術と術後の抗がん剤治療を行った方の手術標本組織をもちいて遺伝子発現を測定します。膵癌においては long noncoding RNA として HOTAIR, MALAT1, HOTTIP, PVT1, H19 などが報告されていますが, いずれも予後因子としての解析や, 化学療法抵抗性との関連性の解析は十分なされているとは言えません。本研究では 2005 年から 2016 年までに, 当院で膵癌術後補助化学療法施行した方の癌組織において, これらの long noncoding RNA の発現と生物学的特性, 治療効果との関連を検討します。関連性が同定できれば, 膵癌術後の患者さんにより最適な術後補助化学療法を提供できると考えています。
	研究期間	西暦 2017 年 10 月 19 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	山本直人
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科 肝胆膵、 臨床研究所、 病理診断科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし